代表・一般質問（要旨）

本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます。
https://www.gikai-adachi.jp

区政を

ローマ字入力するよう周知し、指導主事の訪問等で実態把握に努めている。入力方法の方針を改めて全校に周知し、適切でない指導があった場合は個別に是正していく。

足立区の子どもたちを守る 舎人地域の更なる発展を

自由民主党　しぶや　竜一　議員

朝ごはんで子どもの健康管理を

【問】足立入谷小学校では「学校で朝ごはん」事業を実施している。朝ごはんを食べていない子どもたちへのサポートは、家庭環境の問題解決につながることから、今後は学校だけでなく、民生・児童委員等、地域でコーディネーター役を担う方との連携強化を図りながら対策を考えていくべきと思うがどうか。

【教育指導】現在、学校では管理職や担任等が朝ごはんを食べていない子どもを発見した際に、簡単な朝食を提供する等の対応をしており、今後はこの費用を公費で負担していく予定である。

また、関係所管に働きかけ、民生・児童委員等との連携強化を進め、必要な支援につなげる。

オンラインで体力向上を目指せ

【問】青少年の健全な育成等を目的とし、NTT東日本経営企画部と総合型地域クラブが連携してバドミントンのオンライン指導の実証実験を行った。子どもの体力低下という課題に対し、コロナ禍でも実施可能で体力向上につながるため、区も実施すべきではないか。

【生涯学習】区のスポーツ発展や子どもの体力向上のため、実証実験を行った総合型地域クラブから情報を得て、今後の連携やオンライン指導が可能なスポーツ分野を検討していく。

舎人公園施設は区民優先利用を

【問】区のスポーツ発展や、ゆかりあるチームを作るため、舎人公園スポーツ施設の利用率を底上げし、大会等を中心に区内の子どもの利用機会が増えるよう、都と利用方法等を再度検討すべきではないか。

【生涯学習】区民大会等、区の主催事業及び後援事業は優先利用できるよう支援している。

引き続き、大会以外でも積極的に後援し、区内の子どもが利用できる機会を増やせるよう、都と調整していく。

地域コミュニティの場を確保せよ

【問】旧入谷南小学校跡地活用について、民間事業者との意見交換等の際に、スポーツや地域コミュニティの場にも活用できる空間の確保を強く要望してほしいがどうか。

【総務】スポーツ等に活用できる空間は体育館2.5個分の広さを想定しており、地域コミュニティの場としては、災害時の事務スペースを貸会議室等として転用できるよう考えている。平時の運用方法は、地域や議会の声を聴き、検討していく。

なお、特定団体用の専用スペースの確保は考えていないが、町会やアレフ対策団体等への貸し出しについては想定している。

足立区議会公明党

区民が未来に希望を持てる 区政運営を!!

公明党　さの　智恵子　議員

チームあだちで全力の支援を

【問】区は生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持てる社会の実現に取り組んでいるが、コロナ禍で将来に不安を抱える子どもや若者がいる。チームあだちとして、子どもや若者が夢や希望を持てるよう、全力で支援すべきだがどうか。

【区長】こうした施策を最優先の一つと判断し、「SDGs未来都市」等の柱に子どもの貧困対策を据えて政府に提案した。

また、区はあだち未来支援室を設置し、子どもの貧困対策・若年者支援に取り組む姿勢を明確に打ち出している。今後も庁内を挙げて夢や希望を持ち続けられる区政運営に取り組む。

区は積極的な出産支援を

【問】出生数の減少が見られる中で、出産費用の負担軽減は喫緊の課題である。渋谷区や練馬区ではお祝い金を支給しているが、足立区でも実態を把握して未来への投資と捉え、支給を検討してはどうか。

【子ども】今年8月頃に実施予定の「出産や子育てに関するアンケート調査」の結果を踏まえ、出産お祝い金支給の有効性を判断し、検討していく。

男性用トイレの利便性向上を

【問】病気や加齢で吸水パッドを使う男性が増えている一方、外出先のトイレで捨てる場所がなく、不便を感じている方は多い。袋に入れて持ち帰る等、衛生面の好ましくない状況や性的少数者のために、区施設の男性用個室トイレへサニタリーボックスを設置すべきではないか。

【生涯学習】今年8月頃を目途に本庁舎及び地域学習センターの男性用個室トイレの一部にサニタリーボックスを設置し、区民サービスの向上等を目指す。他施設については、その後の利用状況を見て設置検討を行う。

障がい者スポーツを推進せよ

【問】区は東京ヴェルディと障がい者スポーツを中心とした運動・スポーツに関する分野での連携・協力に関する協定を結んだ。今後、この協定に基づく展開をどのように考えているのか。

また、東京ヴェルディの公式試合時に「足立区の日」を設定し、障がい者や子どもたちにプロスポーツ観戦等の機会を提供してはどうか。

【生涯学習】東京ヴェルディとはスペシャルクライフコートフェスティバルの開催等、障がい者向け事業やパラスポーツの普及事業をスタートさせた。指導者の育成やプロスポーツに触れる機会の提供等、様々な連携を検討しており、「足立区の日」の設定については、今年度中の実現に向けて取り組んでいく。

女性の活躍できる場を広げよ

【問】国は「女性デジタル人材育成プラン」を発表し、デジタルスキルの向上と就労支援により、育児・介護等で就労時間や場所に制約がある女性の支援をするとしている。区もこの取り組みを推進すべきではないか。

また、就労に必要なスキルアップのためのパソコン講座等も無償で実施してはどうか。

【足立福祉】スキル習得支援や就労支援に関する先進的な取り組みを調査の上、就労に直結する女性のデジタルスキルの育成を推進していく。

また、くらしとしごとの相談センターでは利用者のレベルに応じて就労支援委託事業の無料パソコン講座等を紹介している。

今後、利用者増加に向けて取り組みを工夫する。

90周年事業は多くの利用者に

【問】区はスマートフォン決済の利用で20%のポイントが還元される「㊗キャッシュレス還元祭de90周年事業」を実施予定である。高齢者を含め多くの方に利用してもらうために、利用方法等を分かりやすく周知する必要があるがどうか。

また、マイナポイントセッティングサポート窓口のように、身近なところでサポートが受けられる体制が必要ではないか。

【産業経済】あだち広報等の従来の周知方法に加え、新規店舗を増やして店頭にポスター等を掲示することで、利用方法等を分かりやすく周知し、多くの方に参加してもらえるよう努める。

また、区内携帯電話ショップでのサポートや区施設におけるスマホ講座も予定しており、周知と環境整備に取り組む。

スマホ操作の支援を強化せよ

【問】スマートフォンを持っていても機能を活用できていない高齢者から、操作を教えてほしいという声が多い。研修を受けた高齢者が「（仮称）スマホサポーター」として住区センター等で教える仕組みをつくり、活躍してもらってはどうか。

また、この取り組みを元気応援ポイント事業のメニューに加えてはどうか。

【高齢者】今年度からオンラインで行う介護予防事業の中で、スマートフォンが得意な参加者を把握、発掘しながら高齢者同士が身近な場所でスマートフォンの操作方法を教えあうことができる仕組みを構築していく。

合わせて、元気応援ポイント事業のメニューに加えることも検討していく。